

県内経済の動き

概況

〔2021年1月～2021年3月の動き〕

持ち直しの動きが一服、求人は底堅く推移

鉱工業生産指数（1月）は2カ月ぶりに前年同月比低下、通関輸出額（2月 細島港）は3カ月ぶりに前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（2月 全店ベース）は4カ月連続で前年同月比減少、「軽」を含む乗用車の販売台数（3月）は2カ月ぶりに前年同月比増加した。新設住宅着工戸数（2月）は2カ月連続で前年同月比減少し、公共工事（3月 保証対象請負総額）は2カ月ぶりに年同月比増加した。有効求人倍率（2月）は前月比+0.04ポイント上昇の1.25倍で、3月の企業倒産は前月比2件増の4件、負債額は同54百万円増の3億6百万円となった。

県内の新型コロナウイルス感染は一進一退の状況が続いており、景気の先行きに対する不透明感は拭えない。